

097 新潟縣越後國 古町鯛車雪洞(ぼんぼり)で、人降る町へ



7/18～10/12◆ベースキャンプほか◆ミニ鯛車を制作してベースキャンプに展示する。鯛のかぶり物を制作し古町鯛踊りとして披露する。使用後のミニ鯛車を各施設へ配布する。◆柳都わいやらの会 ☎ 025-287-2111

098 みずつち大学



7/25～10/4◆ベースキャンプほか◆「まなざしのデザインゼミ」全6回講座(要申込 7/20まで)①思考を根本から変える②ゼミ③フィールドワークを行い、未来の新潟を考え行動できる人財を育む。◆水と土の芸術祭市民サポーターズ会議 ☎ http://mizutsuchi.com/

099 文学で参加する水と土の芸術祭 2015



7/25～10/10◆ベースキャンプほか新潟市内各所◆文学の中の水と土を認識し、楽しむ。文学作品の中に登場する水と土の果たす役割を確認し、楽しむ。◆新潟ゆかりの文化を楽しむ会 ☎ 090-3093-2623

100 にいがた北国街道～岩室温泉ものがたり



7/26、8/29～9/27◆赤塚～岩室ほか◆芭蕉や松蔭も歩いたという北国街道をバスで巡り歴史を学ぶ。岩室でのランチ&まちあるき。後日編集講座で作品集作成、作品展開催。◆にいがた北国街道まちあるきの会 ☎ nagai@hakushindo.jp ☎ 090-2846-7637

101 市民参加のこども演劇「ふしぎなたいこ」



7/31、8/11、8/17、8/24、9/6、9/12◆こども創造センター、新潟浄化センター◆楽しく親子でこども演劇ワークショップをし、表現力や想像力を養いお友達づくりをする。そして、こども演劇の公演をする。◆劇団あかつき ☎ 090-4679-4583

102 わたしのマチオモイ帖・新潟



8/1～10/12◆ベースキャンプ、白根商店街空き店舗◆全国のプロのクリエイターの創った「わたしのマチオモイ帖」の展示や、各地で参加者と一緒に「マチオモイあるき」を行い、「マチオモイ文庫」を作るワークショップもあり。ベースキャンプ8/1～2、白根8/22～23(各1週間前までに要事前申込)◆同実行委員会 ☎ http://machiomoi.net/

103 燃える水、燃える土



8/3、9/19、10/3◆クロスパルにいがたほか◆遺跡からアスファルトが出土し、日本書紀には「天智天皇に燃土、燃水が献上された」と記録されています。「燃える水、燃える土」をテーマに「シンポジウム」「バス見学会」を実施し見分を深めます。◆石油の世界館友の会

104 「みずつち合宿」のためのプレ企画



8/9◆福島県南相馬市鹿島区生涯学習センター◆被災地の子どもたちをお招きする「みずつち合宿」直前に、南相馬市内の会場に集合して新潟県立大学の大学生たちによる手作り竹細工教室を実施。◆南相馬市子ども支援プログラム

105 はばたけ 21「水と土の探検隊」



8/22◆ビュー福島島、メディアシップほか◆ロシア・中国・韓国と新潟県内の子どもたちによる国際交流活動を実施。新潟の豊かな水と豊穡の大地を体感・学習し、各国の文化・環境を学び友情の絆を深める。◆はばたけ 21 の会 ☎ http://www.prontonet.net.jp/habatake21/ ☎ 025-249-1721

106 ウポポリムセ・アイヌに遊ぶ～宇梶静江さんとともに



8/28～8/30、9/25～9/27◆ベースキャンプほか◆古布絵作家、アイヌの解放運動家の宇梶静江さん、そしてアイヌの語り部、音楽家を招き、様々なアイヌ文化を体験する日々。それを通して私たちの現在を考える。◆ウポポリムセの会 ☎

107 ファイヤーパフォーマンス～element of the EARTH～



9/26◆新潟県スポーツ公園 カナル広場(水辺の広場)◆県内外でプロとして活動中の大道芸人・ファイヤーパフォーマンスと、心を研ぎ澄ませ身体表現に臨む創作舞踏家の渡部恵美子が主体となり水と土の芸術祭期間中、新潟市内の水と大地の力溢れる場所で炎のパフォーマンスを開催する。☎ http://peace.grupo.jp/ ◆佐野正喜(パフォーマンス Peace)

108 水都にいがた五感塾 2015



9/27、9/28◆新潟市内5会場◆1泊2日の体験交流研修を行う。自然風土と文化、人の心を「五感」で感じる体験研修を行い、新潟市の魅力の発見と人の心の深さを感じる。◆水都にいがた五感塾・世話人会 ☎ 0256-78-7575 ¥1人 20,000円

109 異界とのダイアローグー里、潟に生きる



10/3 ほか◆砂丘館ほか◆テクノロジーの発達によって忘れられがちな身体感覚、自然と一体となって生きた人々の世界観、海を介した交易や芸能のひろがり、暮らしの豊かなありようなどを石川直樹さんと共に振り返ります。◆Niigata Navy Blue

110 (仮称)「新潟水と土の記憶」ミニ冊子製作事業



◆江南区鍋沼新田に古くから在住する塚田家が所蔵する鳥屋野潟周辺をはじめとしたかつての亀田郷の農村生活風景を残した写真を誰もが垣間見ることができるようミニ冊子に編集し、先人たちの記憶を継承することを目的とする。

※掲載情報は 2015 年 5 月 1 日現在のものです。開催日・内容は変更になる場合があります。一部有料のイベントもあります。詳細は各お問い合わせ窓口・ホームページ・水と土の芸術祭 2015 実行委員会事務局でご確認ください。

最新情報はホームページの「市民プロジェクト」一覧をご覧ください。
<http://www.mizu-tsuchi.jp/>

市民プロジェクト

水と土の芸術祭2015は、市民が主役の芸術祭。市民プロジェクトでは、ユニークな催しものが目白押し。来て、見て、そしていっしょに盛りあげましょう!!

水と土の芸術祭

Water and Land Niigata Art Festival 2015

会期：2015年7月18日(土)～10月12日(月・祝)
市民プロジェクト一覽

水と土に育まれた新潟市の暮らし文化の魅力を発信する市民プロジェクト。参加すればするほど新潟が好きになる、110の事業を紹介します。

水と土の芸術祭 2015 は、アートをはじめパフォーマンス、こどもプロジェクト、シンポジウム、食・おもてなしなどのさまざまなプロジェクトから成り立っています。そのいずれもが芸術祭の基本理念「私たちはどこから来て、どこへ行くのか」を共に考え、探るといふ点で共通しています。そして市民が独自に企画・実施する市民プロジェクトは、各プロジェクトの要素をすべて含むものです。市民がつくり、支え、育てていく芸術祭は「みずつち」の大きな特徴であり、市民プロジェクトはその根幹を成すものです。

総合ディレクター：小川弘幸



水と土の芸術祭2015実行委員会事務局

〒951-8507 新潟市中央区西堀前通6番町894番地1 西堀六番館ビル5階(新潟市水と土の文化推進課内)
Tel : 025-226-2625 Fax : 025-228-7370 E-mail : mizutsuchi@city.niigata.lg.jp

